

「子ども・子育てに関するニーズ調査」の集計結果（速報）について

○ 調査実施状況

調査方法 : 郵送による無記名回答方式

調査期間 : 平成25年12月1日（日）～12月13日（金）

調査対象 : ① 就学前児童の保護者 3,824人

② 小学生の保護者 3,875人

※ 住民基本台帳（11月1日現在）から無作為に抽出

回収状況 : 下表のとおり

調査対象	発送数	回収数	回収率
就学前児童の保護者	3,824	1,843	48.2%
小学生の保護者	3,875	2,115	54.6%

○ 単純集計結果概要

今回のニーズ調査の中核となる、幼稚園・保育所等の利用状況や利用希望に関する集計結果の概要は別紙のとおりです。

なお、小学生の保護者を対象とした調査については、現在、集計作業中です。

○ 今後の進め方について

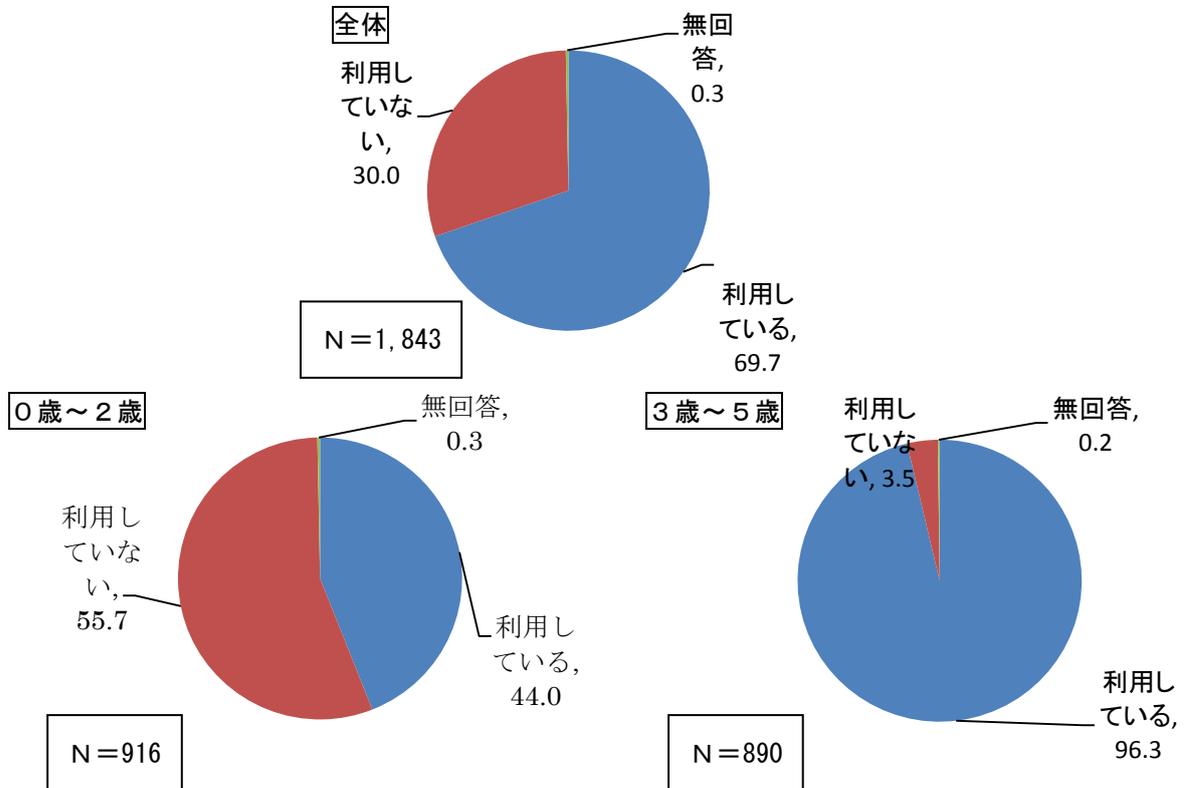
保護者の就労状況や世帯構成、居住地区などの質問項目と、施設・事業の利用希望等を組み合わせるクロス集計を実施し、詳細なニーズ分析を行います。

また、実際の各施設・事業の利用状況等を含め、子ども・子育て会議での議論を踏まえ、年度内に教育・保育、地域子ども・子育て支援事業の量の見込み（需要量）を算出する予定です。

単純集計結果概要

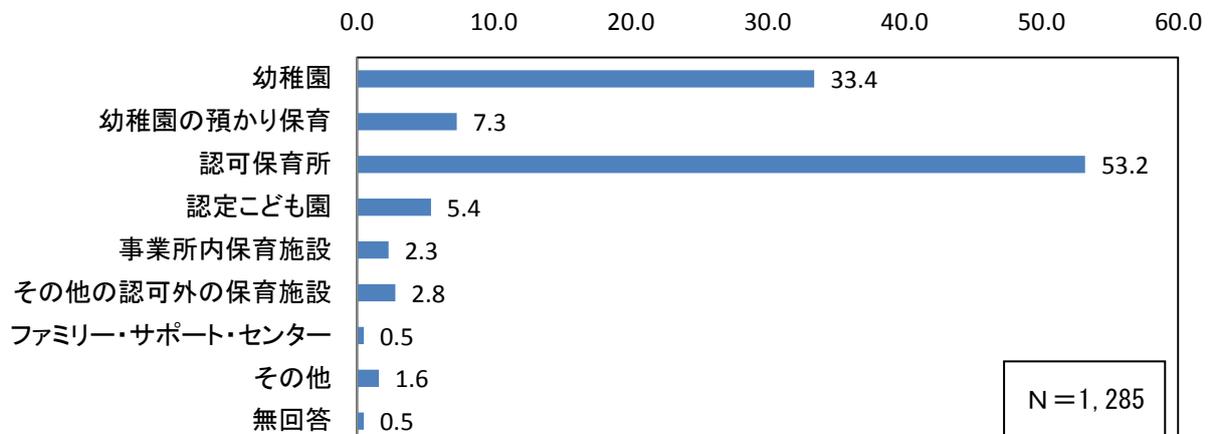
○ 定期的な教育・保育事業の利用状況・利用希望について

【問15】 平日の「定期的な教育・保育事業」の利用について



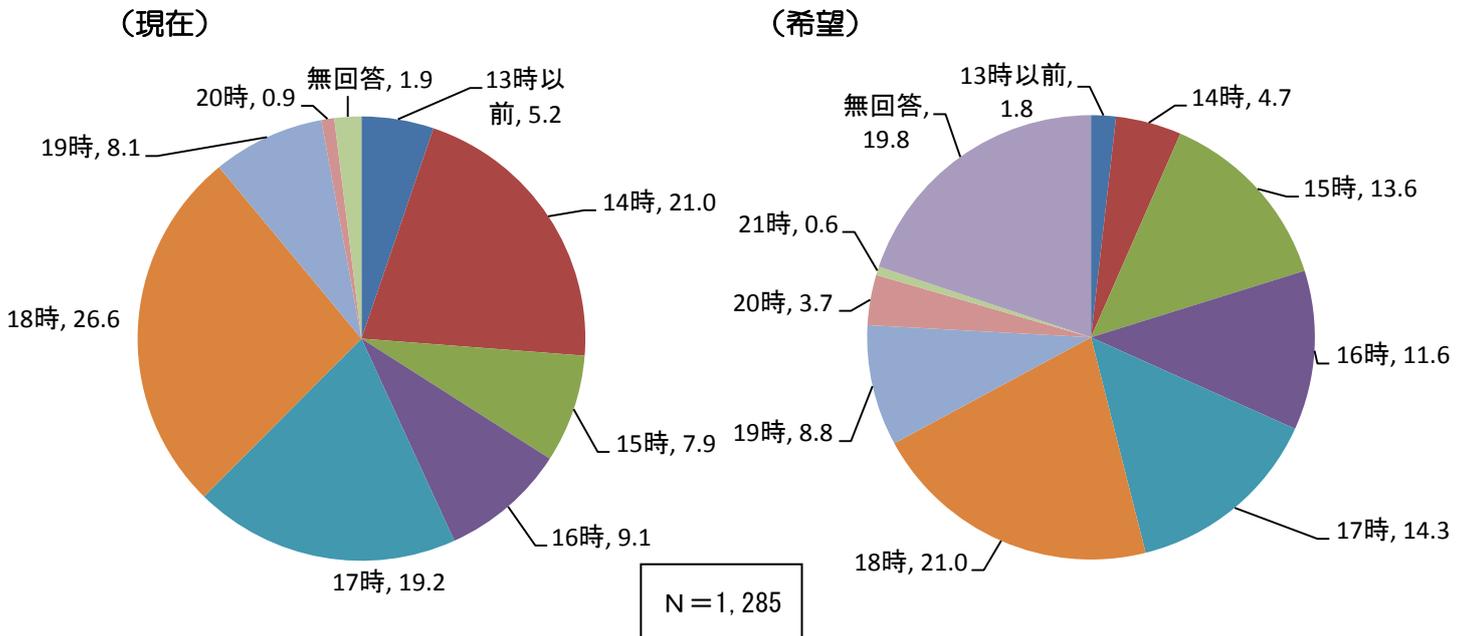
全体では、約70%が「定期的な教育・保育事業」を利用している
 3歳以上では、ほとんどの児童が「定期的な教育・保育事業」を利用している

【問15-1】 利用している「教育・保育事業」について〔複数回答項目〕



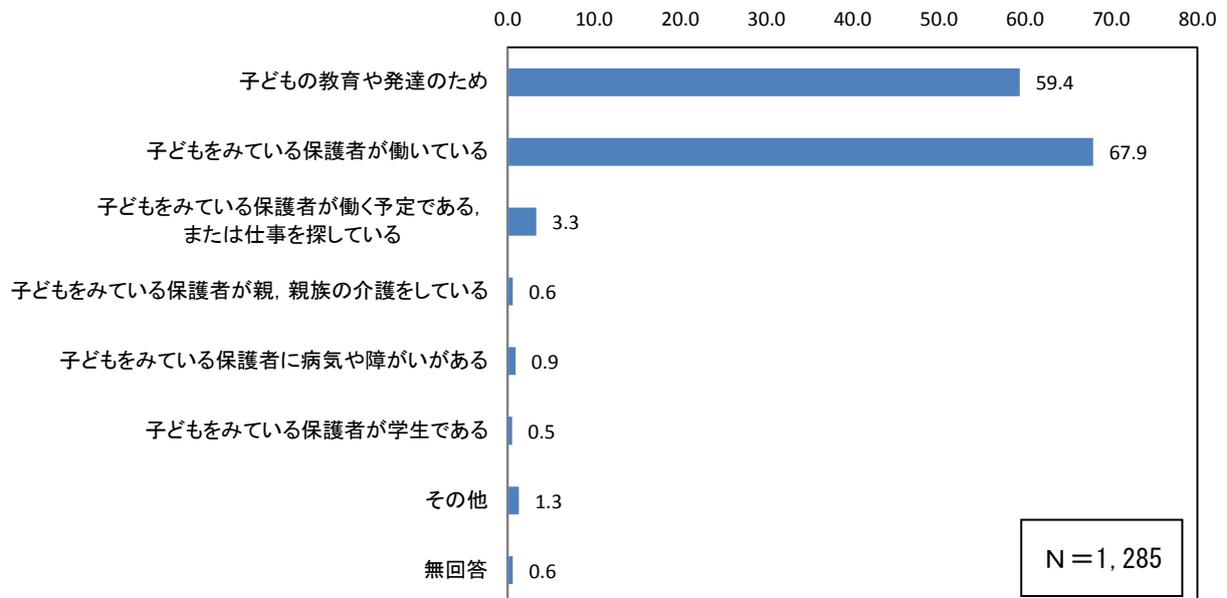
「認可保育所」の利用が最も多く (53.2%), 次いで「幼稚園」(33.4%) の利用となっている

【問15-2】 「教育・保育事業」を現在、何時まで利用していますか。また、希望としては何時まで利用したいですか。



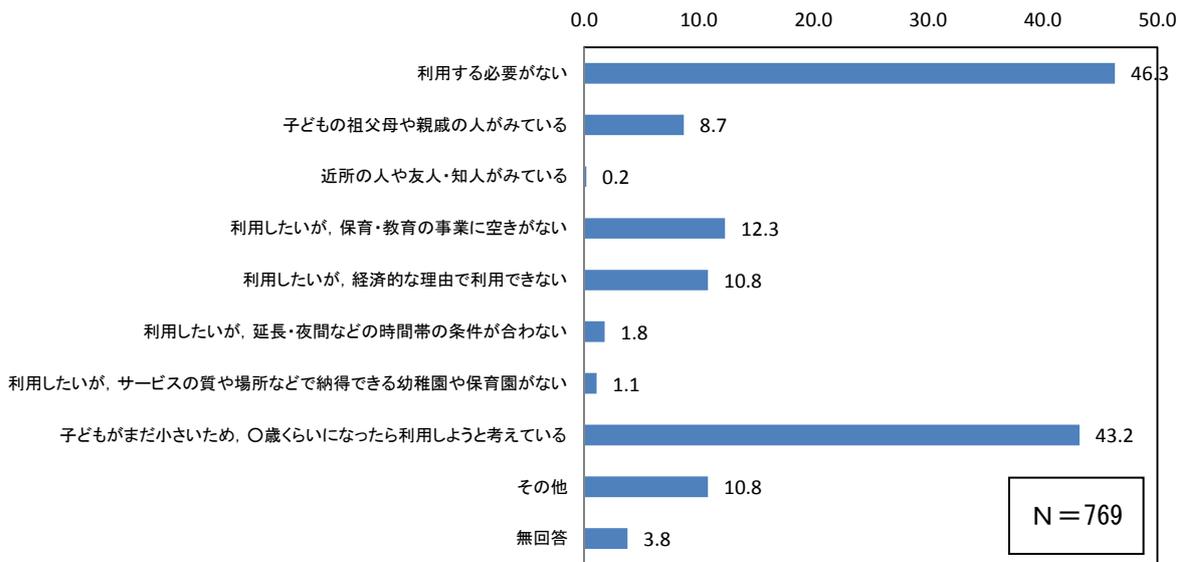
現在の利用時間よりも遅い時間まで希望する方が多い。

【問15-4】 「教育・保育事業」利用している理由について〔複数回答項目〕



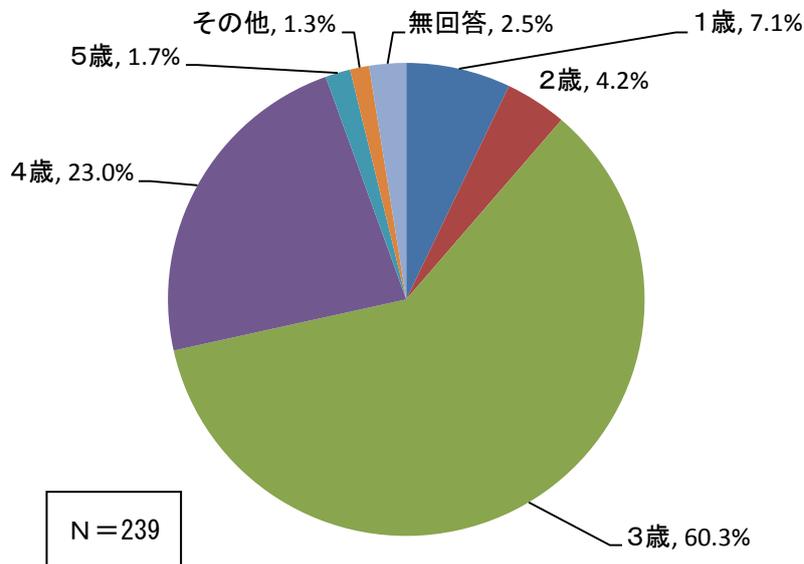
「子どもをみている保護者が働いている」が最も多い (67.9%)

【問15-7】 「教育・保育事業」利用していない理由について【複数回答項目】



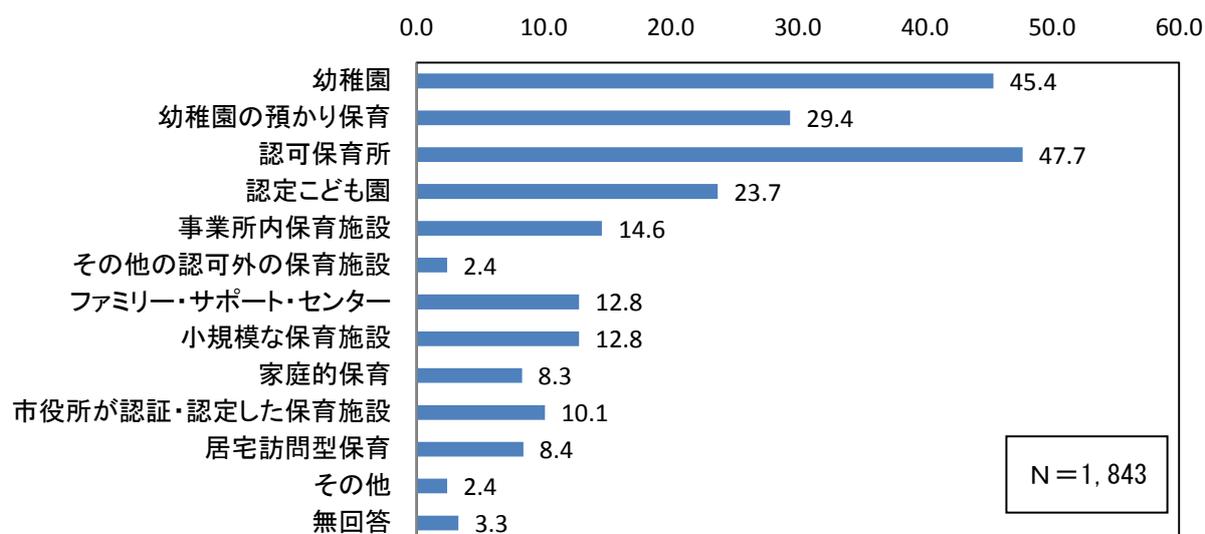
「利用する必要がある」(46.3%)、「子どもがまだ小さい」(43.2%)の割合が多い

【問15-7】 何歳くらいになったら利用しようと考えているか。



「3歳」(60.3%)、「4歳」(23.0%)の割合が多数を占めている

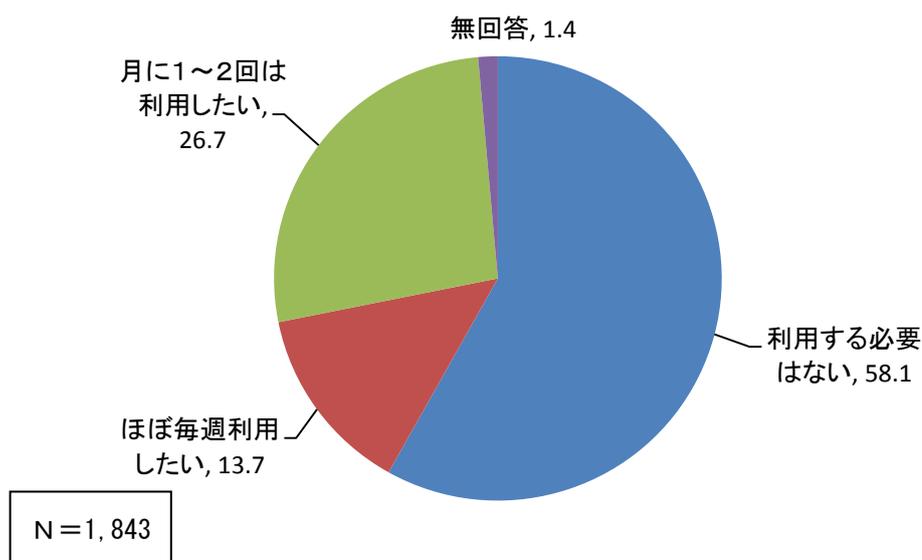
【問16】 平日に利用を希望する「定期的な教育・保育事業」について〔複数回答項目〕



「認可保育所」(47.7%)、「幼稚園」(45.4%)の利用希望が多い
 現在、市で実施していない4事業(小規模保育, 家庭的保育, 認証・認定保育施設, 居宅訪問型保育)の利用希望もある

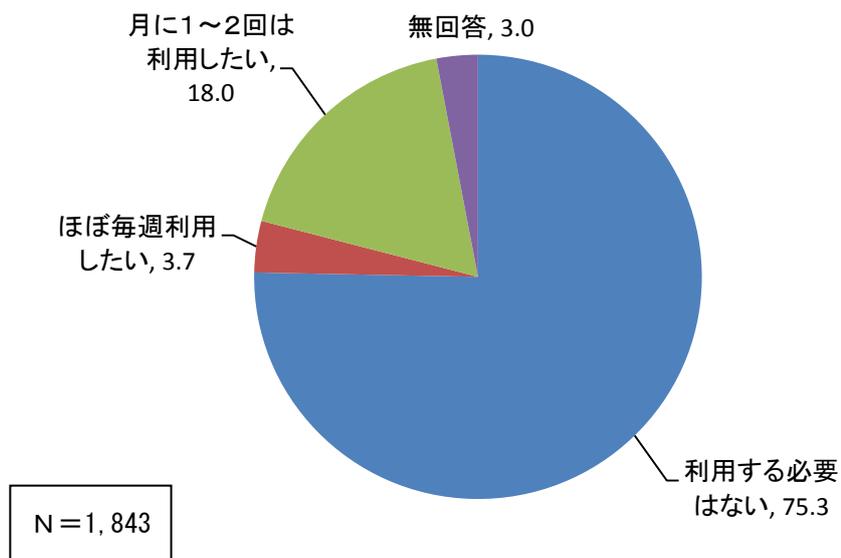
○ 土曜日, 日曜日・祝日, 長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望について

【問20(1)】 土曜日に利用を希望する「定期的な教育・保育事業」について



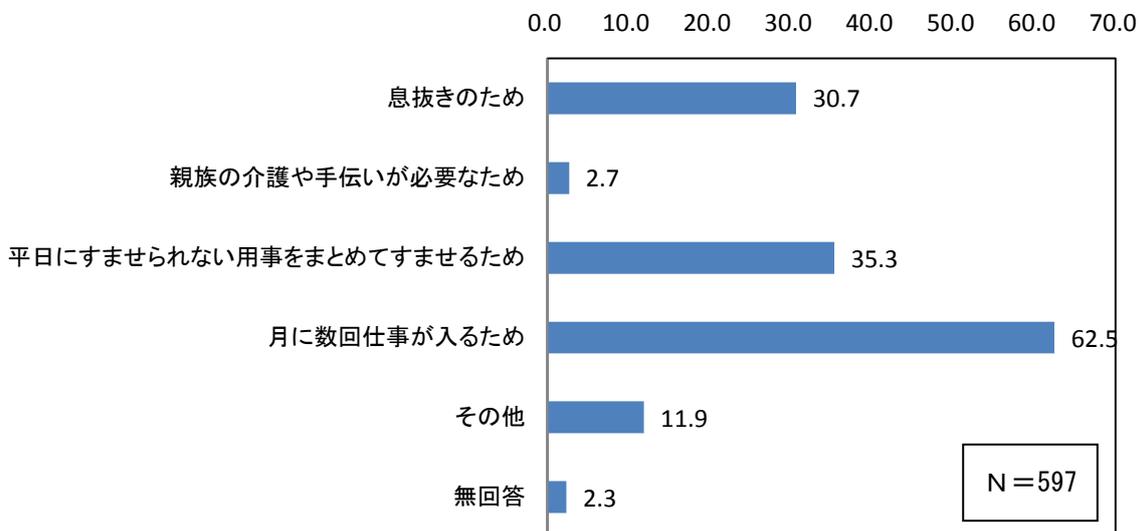
約4割の方が土曜日に利用を希望している

【問20(2)】 日曜日・祝日に利用を希望する「定期的な教育・保育事業」について



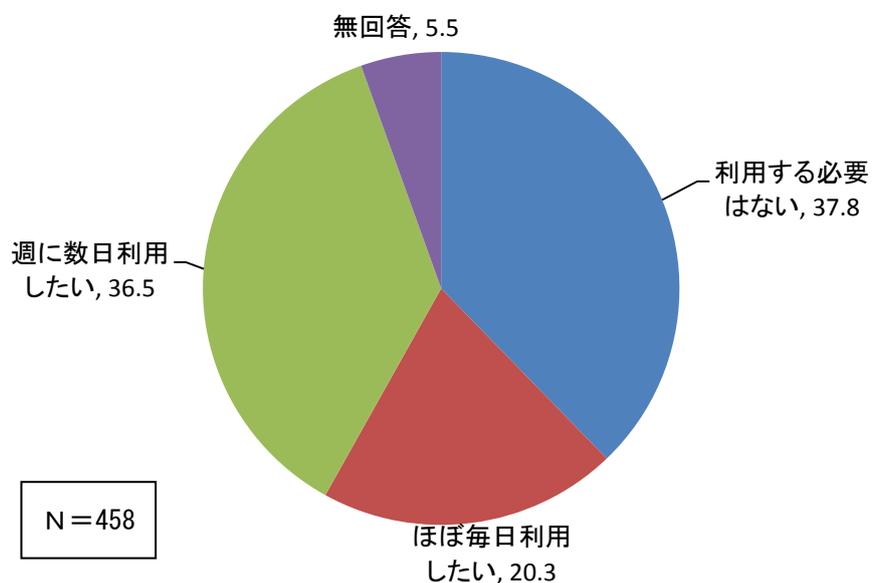
約2割の方が日曜日・祝日に利用を希望している

【問20-1】 土・日・祝日に「月に1~2回は利用したい」理由について〔複数回答項目〕



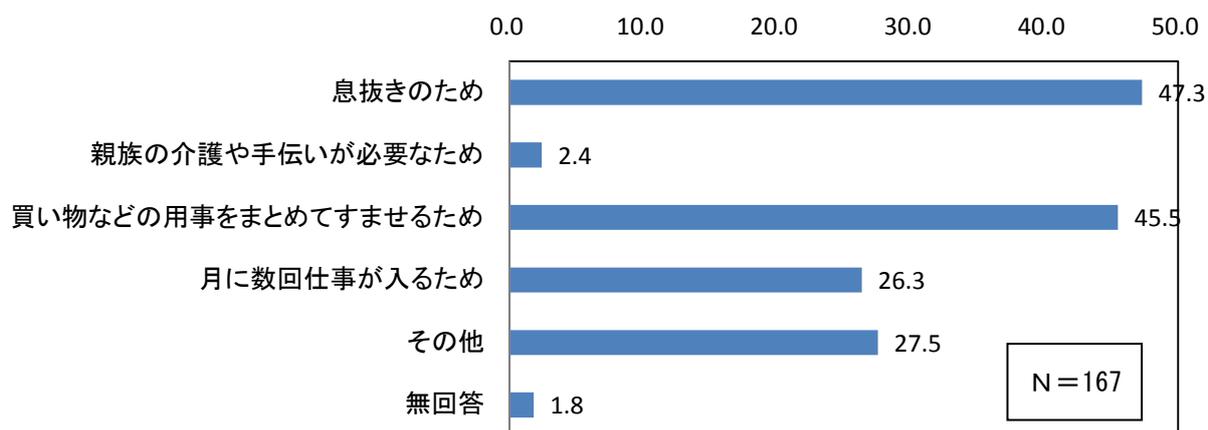
「月に数回仕事が入るため」(62.5%) が最も多い

【問21】 幼稚園を利用されている方の長期休暇中に利用を希望する「教育・保育事業」について



約6割の方が長期休暇中に利用を希望している

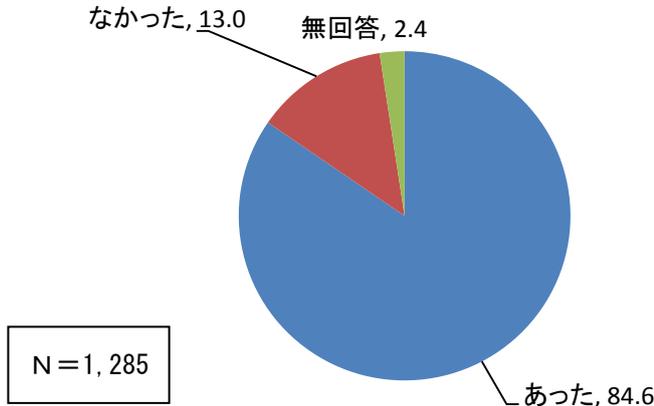
【問21-1】 長期休暇中に「週に数日利用したい」理由について【複数回答項目】



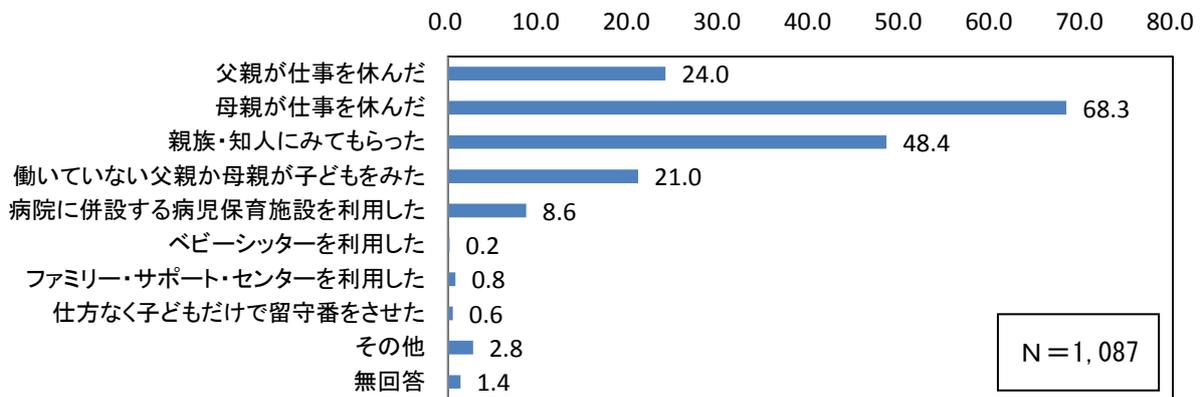
「息抜きのため」(47.3%)が最も多く、次いで「買い物などの幼児をまとめて済ませるため」(45.5%)となっている

○ 子どもが病気になったときの対応について

【問22】 病気やけがで教育・保育事業を利用できなかったことはありますか

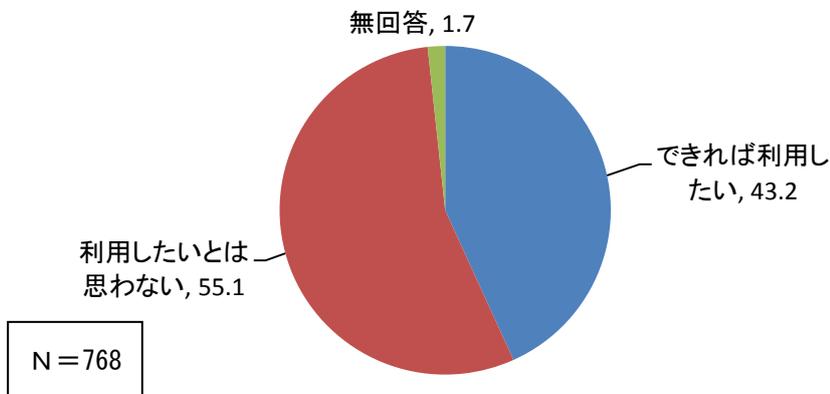


【問22-1】 利用できなかった場合の対処方法について〔複数回答項目〕



「母親が仕事を休んだ」(68.3%)が最も多く、次いで「親戚・知人にみてもらった」(48.4%)、「父親が仕事を休んだ」(24.0%)となっている

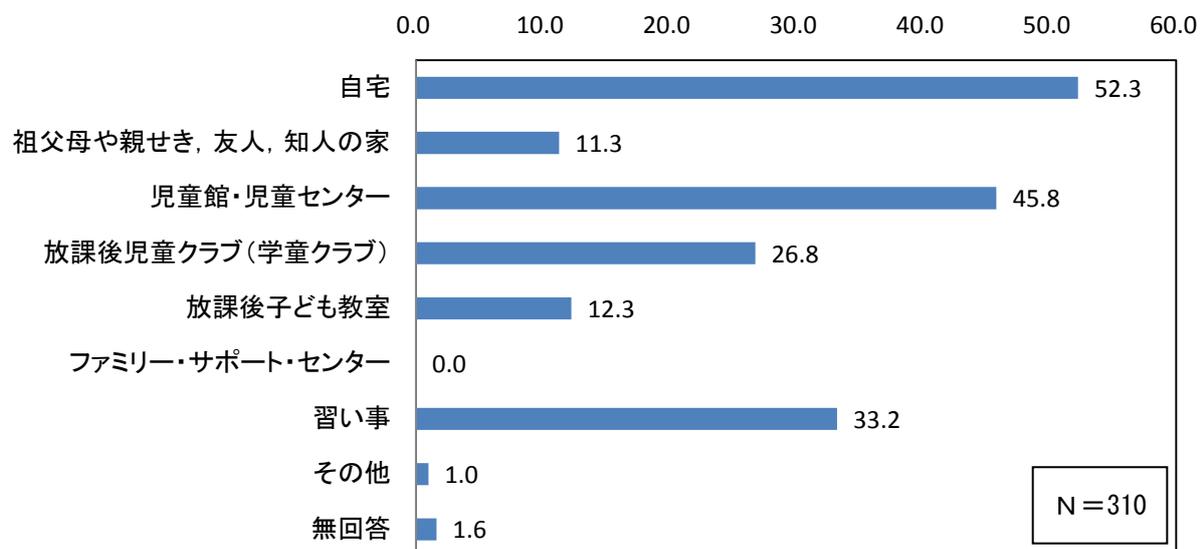
【問22-1】 仕事を休んで対処した方の病児・病後児保育施設の利用希望について



「利用したいとは思わない」(55.1%)が「できれば利用したい」(43.2%)よりも多い

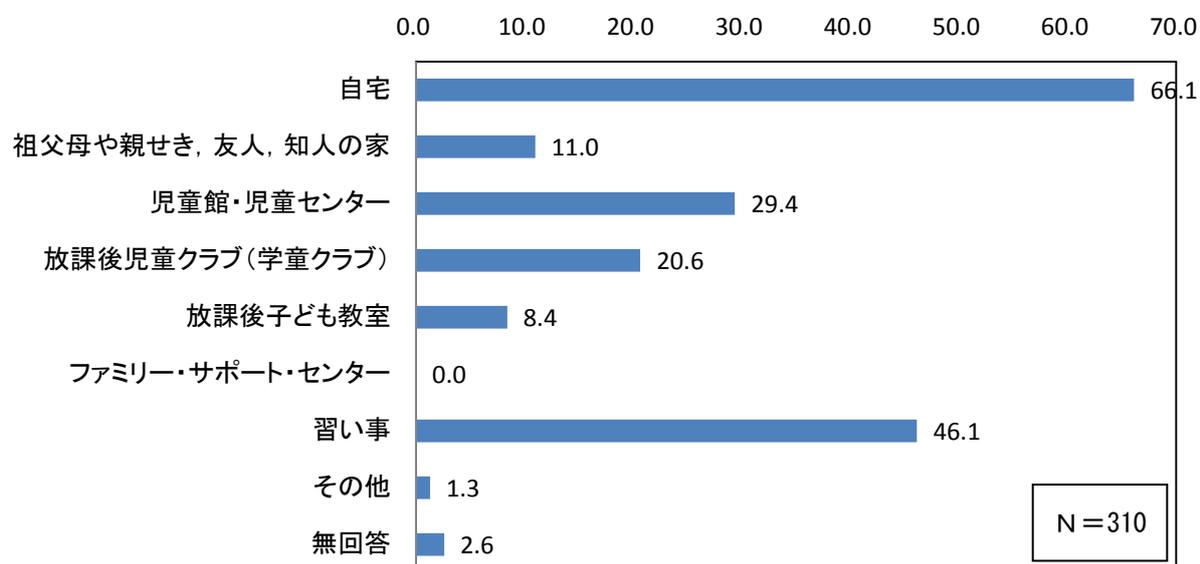
○ 放課後の過ごし方について（今年度6歳となる方のみへの設問）

【問26】 小学校低学年の放課後の過ごし方について〔複数回答項目〕



「自宅」(52.3%) が最も多く、次いで「児童館・児童センター」(45.8%), 「習い事」(33.2%) となっている

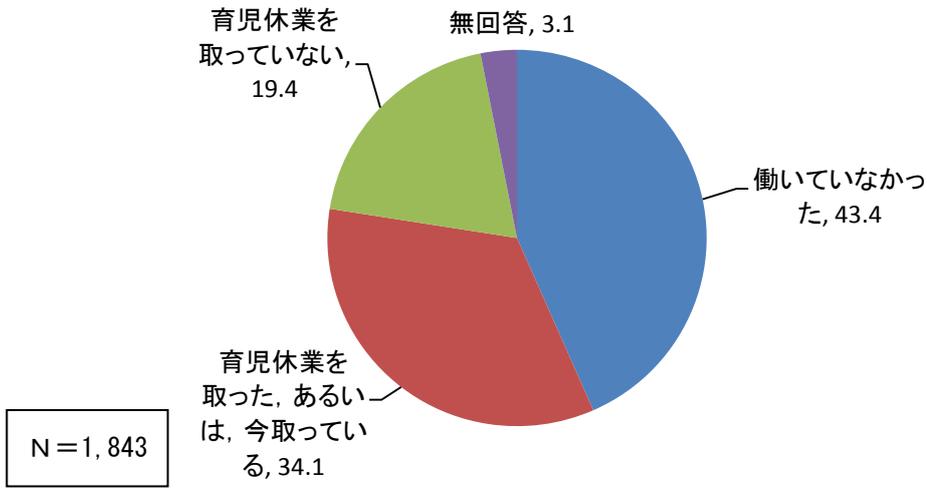
【問27】 小学校高学年の放課後の過ごし方について〔複数回答項目〕



「自宅」(66.1%) が最も多く、次いで「習い事」(46.1%), 「児童館・児童センター」(29.4%) となっている

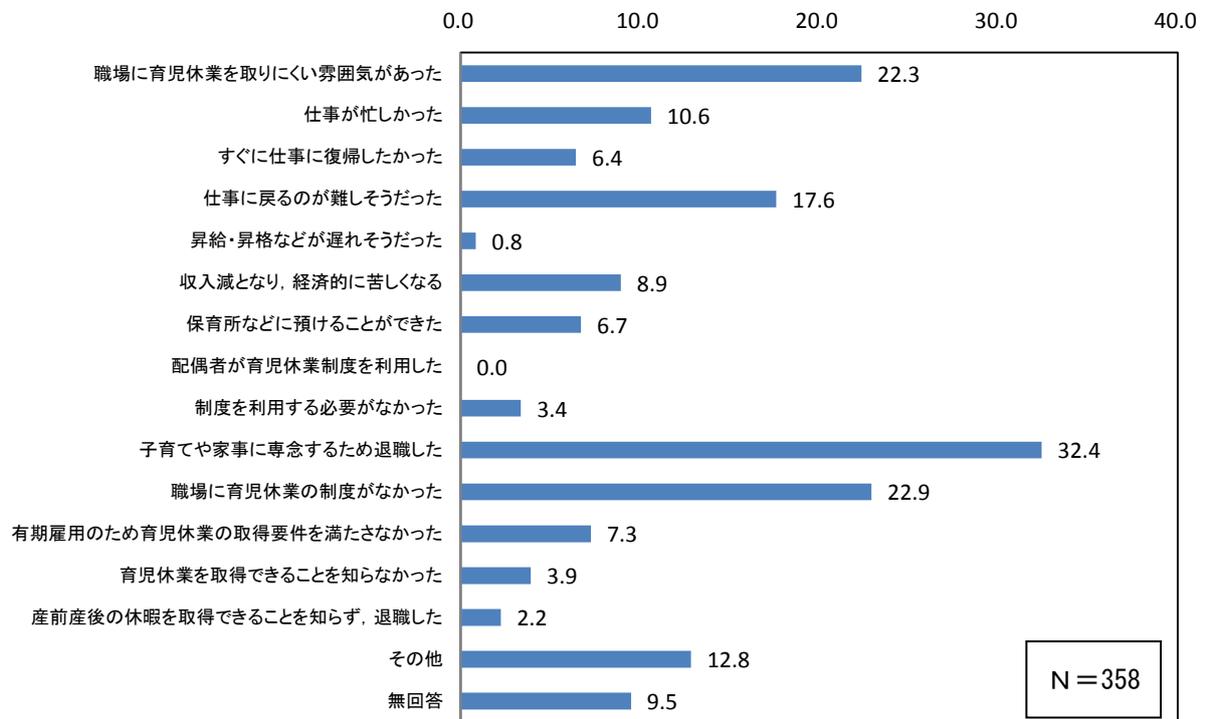
○ 育児休業について

【問30】 母親の育児休業の取得状況について



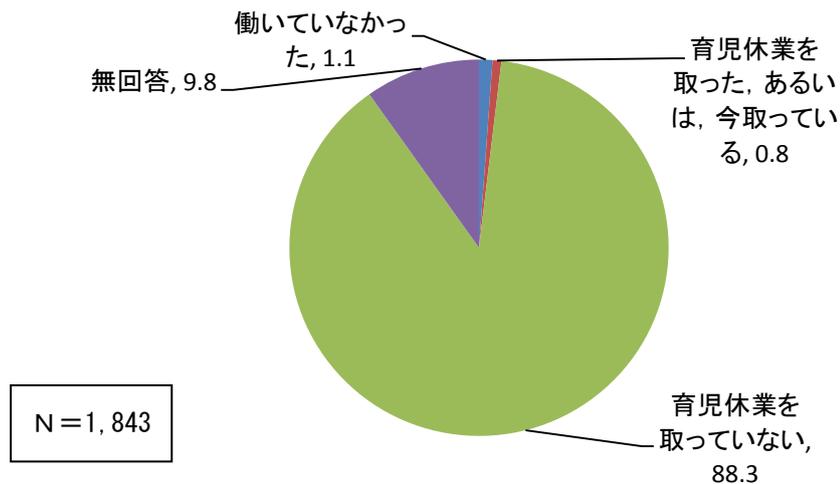
約2割の方が育児休業を取得していない

【問30】 育児休業を取得していない理由について〔複数回答項目〕



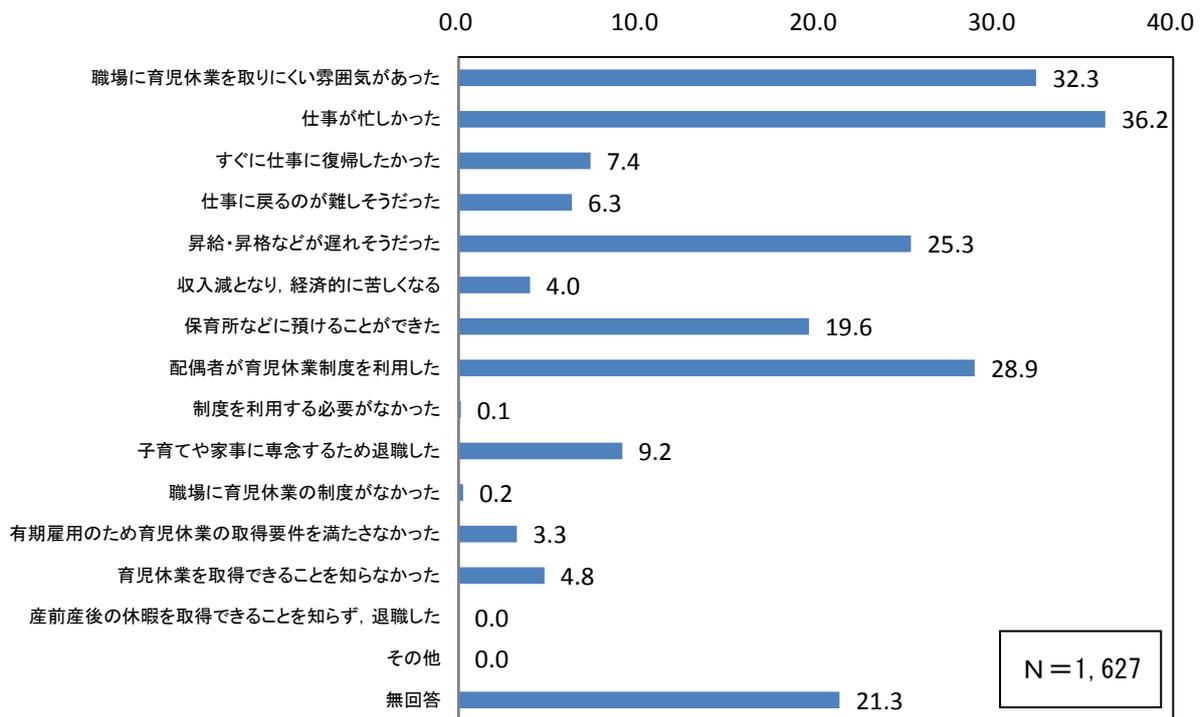
「子育てや家事に専念するために退職した」(32.4%)が最も多い

【問32】 父親の育児休業の取得状況について



約9割の方が育児休業を取得していない

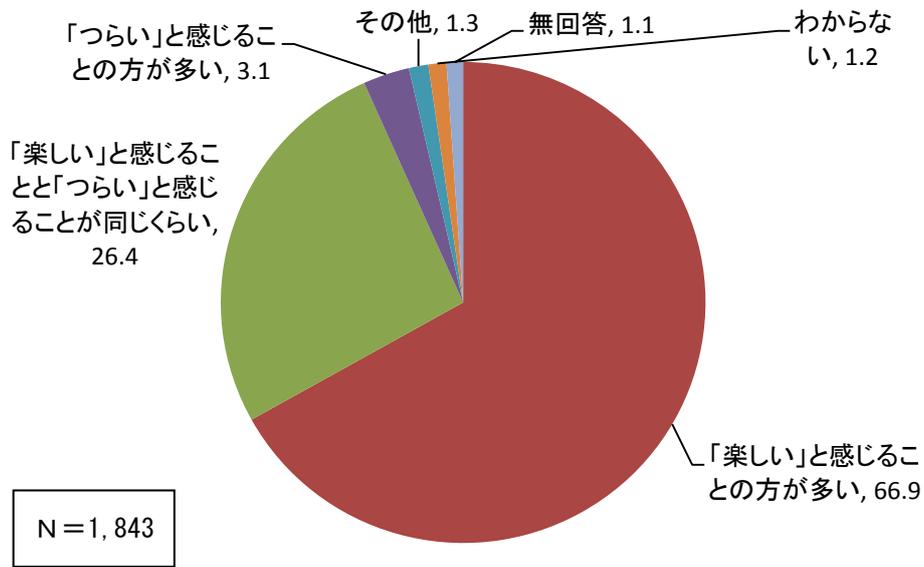
【問32】 育児休業を取得していない理由について〔複数回答項目〕



「仕事が忙しかった」(36.2%)が最も多く, 次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(32.3%)となっている

○ 子育てに対する気持ちについて

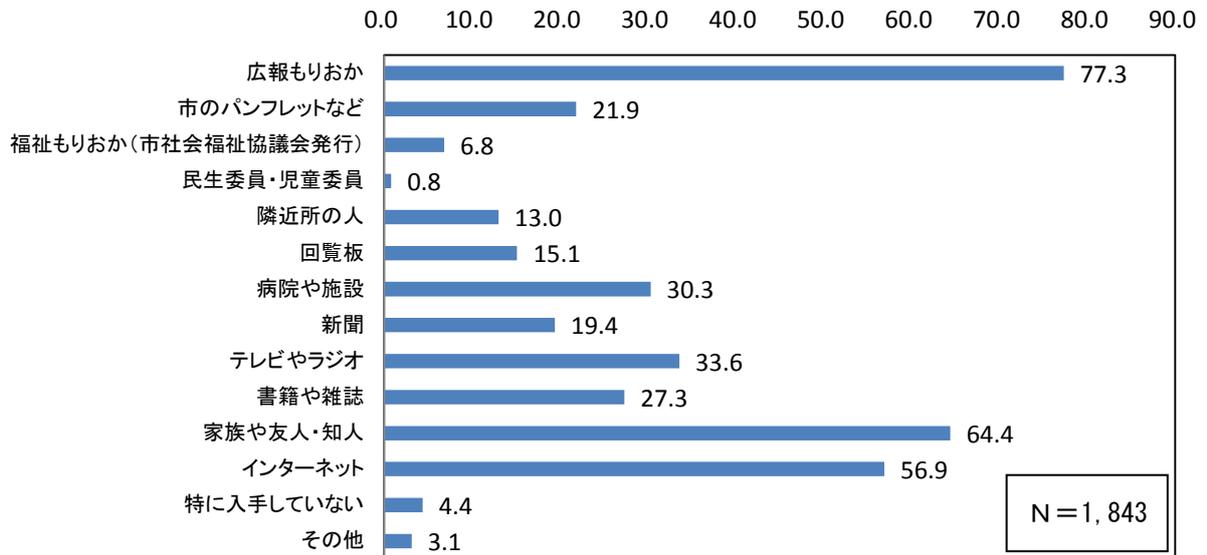
【問10】 子育てを「楽しい」と感じることと「つらい」と感じることとどちらが多いか。



「楽しい」と「つらい」が同じくらいの方を含めて、約3割の方が「つらい」と感じている

○ 子育てや教育に関する情報の入手方法について

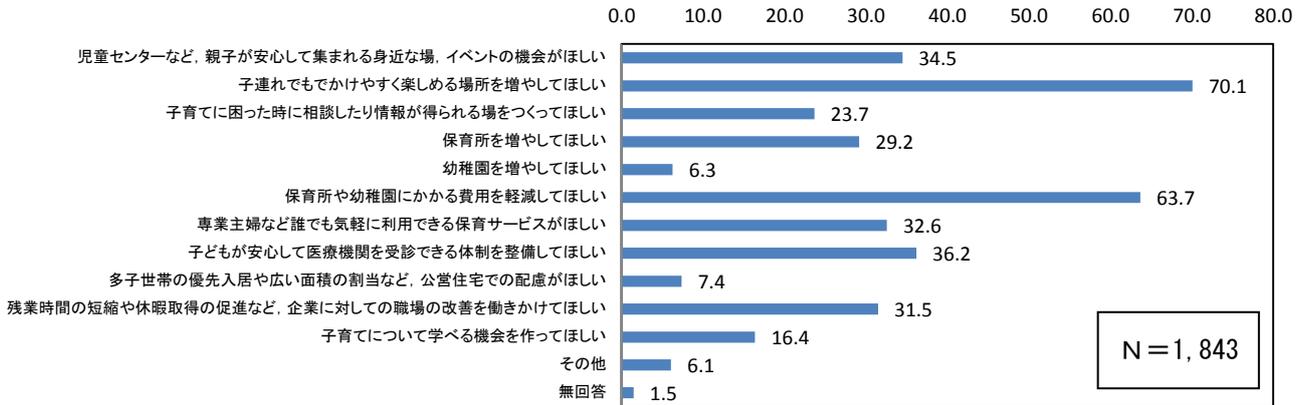
【問35】 子育てや教育に関する情報の入手方法について〔複数回答項目〕



「広報もりおか」(77.3%)が最も多く、次いで「家族や友人・知人」(64.4%)、「インターネット」(56.9%)となっている

○ 市への要望

【問38】 市に対してどのような子育ての充実を望んでいますか【複数回答項目】



「子連れでもでかけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」(70.1%)、「保育所や幼稚園にかかる費用を軽減してほしい」(63.7%)の要望が多い

○ 家庭類型

国で示した『量の見込』の算出等のための手引き」における、家庭類型の現状は次のとおりである。

